

# マイワシで作る ~まいわし油漬缶詰~

ペーパークラフトシリーズ No. 2-③

英名：japanese sardine  
学名：Sardinops melanostictus  
分類：ニシン目 ニシン科

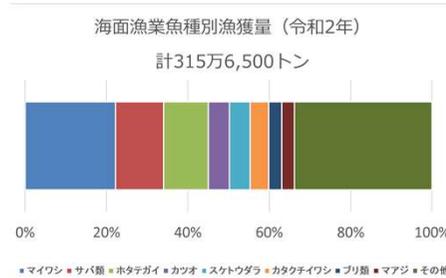


マイワシは日本で一番獲れる魚です。マイワシの漁獲量が、日本全体での漁獲量に影響するといっても過言はありません。日本ではマイワシを太平洋系群と対馬暖流系群の2つに分けて資源管理をしています。

マイワシは回遊性の海水魚で、生まれてから2年ほどで18~20cm位になります。旬は漁獲地域によりズレはありますが、おおむね初夏から秋頃が旬。特に6月~7月頃に銚子をはじめ関東付近で獲れるマイワシは「梅雨いわし」や「入梅イワシ(にゅうばいいわし)」と呼ばれ、脂がのり始める頃の、旬のマイワシとして親しまれています。

また、9~10月頃からの釧路などで獲れるマイワシも大型で脂がのっており、こちらも絶品です。

脂がのったマイワシは、缶詰や鮮魚に、特に鮮度が良いものは刺身用として市場に出回っています。また、フィッシュミールや魚油等、原料としても活用されています。

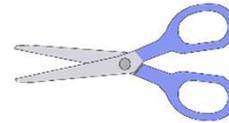


缶詰工場の棚谷です。  
作る前にかならず  
お読みください！

- ・組み立てに入る前に、説明書をよく見て、全体の流れをつかんでください。
- ・刃物を使用する際は、十分に気を付けてください。

下記の道具を用意してください

はさみ



カッター

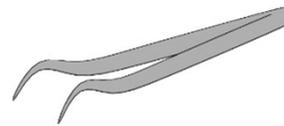


のり

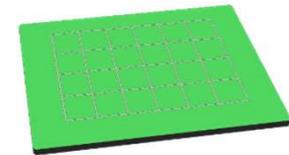


あると便利な道具

ピンセット



カッティングマット

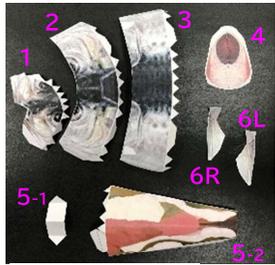


このペーパークラフトは、マイワシを細部にまでこだわり再現したもので、マルハニチロの「まいわし油漬」缶詰を、組み立てたマイワシで作る仕立てとなっております。また、2月の節分のヒイラギワシも合わせて作れるよう、枝付きヒイラギも用意しました。

4・5・6・8ページをA4用紙に片面に印刷し、ご使用ください。

所要目安時間は約3時間です(ヒイラギを除く)。各パーツを切り抜くところなど、細かい作業が発生しますが、マイワシ好きのみなさま、是非チャレンジしてみてくださいね♪

# 1 頭部と内臓の組み立て



頑張って  
2匹作成しましょう！

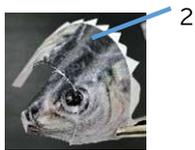


\*線に沿って切り離し、のりしろの部分  
を折り曲げます。

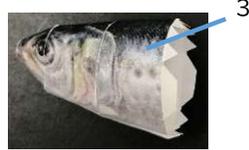
## 頭部の組み立て



パーツ1を丸め、  
筒状にします。



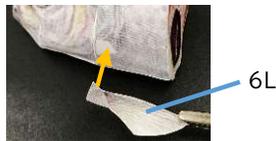
パーツ2をかぶせながら、  
模様を合わせて接着します。



同じようにパーツ3を  
接着します。

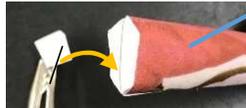
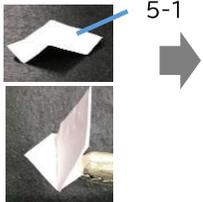


パーツ4を接着します。



パーツ3の白い部分に合わせて、  
パーツ6L(左側の胸びれ)の根本を接着します。  
\*右側も同様に、パーツ6Rを接着します。

## 内臓の組み立て



パーツ5-2を丸めて組立て、写真の位置にパーツ5-1を接着します。

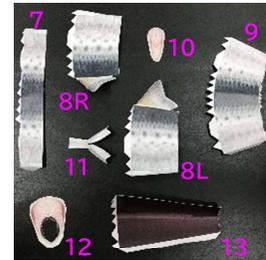


パーツ5-1を  
写真のように折り曲げます。



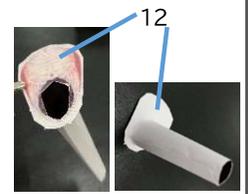
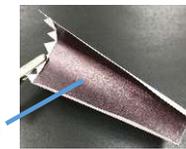
パーツ4のスリットにパーツ5-1を差し込みます。  
\*接着しません。

# 2 胴部の組み立て



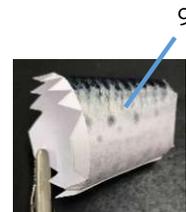
## 腹腔の組み立て

パーツ13を、茶色の部分を内側にし  
て丸めます。  
\*うす茶色の線がみえる方が背側  
になります。

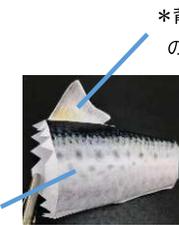
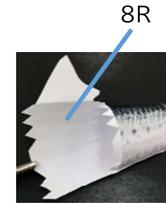


パーツ12の裏の穴の部分  
に合わせて接着します。  
—腹腔パーツ

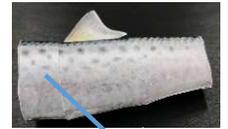
## 胴部の組み立て



頭部と同様に、パーツ9を丸め、そこにパーツ8R、8Lをかぶせて接着します。  
最後にパーツ7をかぶせて接着します。



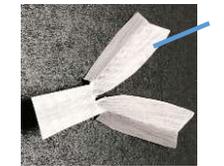
\*背びれが  
のりしろになります。



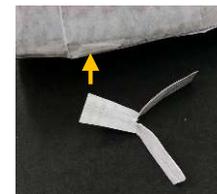
## 腹びれの組み立て



頭側から2ページ目右上の腹腔  
パーツを挿入し、接着します。  
尾側にパーツ10を接着します。



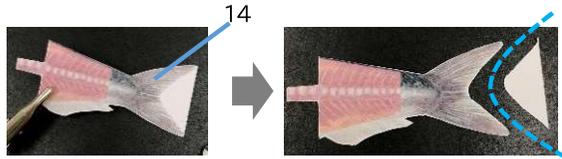
パーツ11(腹びれ)を、線にそって折り曲げ、腹びれの両面を  
貼り合わせます。



パーツ8の白い部分に合わせて、腹びれを接着します。



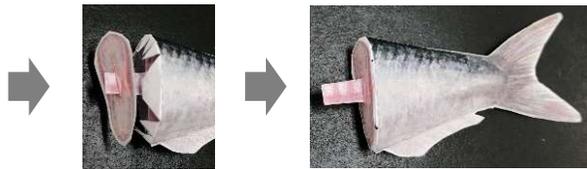
### 3 尾部の組み立て



パーツ14を、破線で山折りにして接着した後、白い部分を切り取ります。

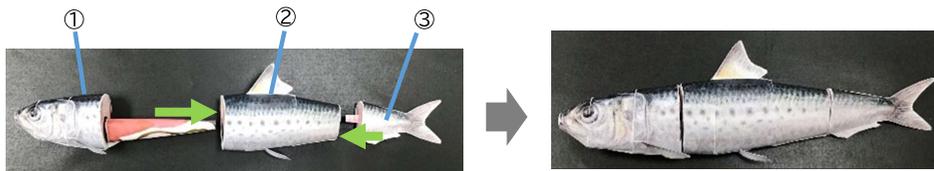


パーツ16Lを、パーツ14の断面の部分が隠れるように接着します。  
\*右側も同様に、パーツ16Rを接着します。



パーツ14の中骨の部分を、パーツ15のスリットに通して接着します。

### 4 各部の組み合わせ



胴部(②)に頭部(①)と尾部(③)を挿入します。  
\*接着しません。

### 5 缶の組み立て



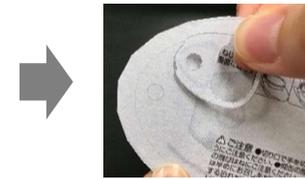
こちらの画像はまいわしトマト油漬を使用していますが、作り方は同じです。



パーツ缶2を曲げ、筒状にします。



右上の図を参考に、  
パーツ缶1にパーツ缶2を接着します。



パーツ缶4(ふた)に、  
パーツ缶3(プルタブ)を接着します。



パーツ缶4ののりしろを、缶本体に  
接着します。

### 6 缶への入れ方



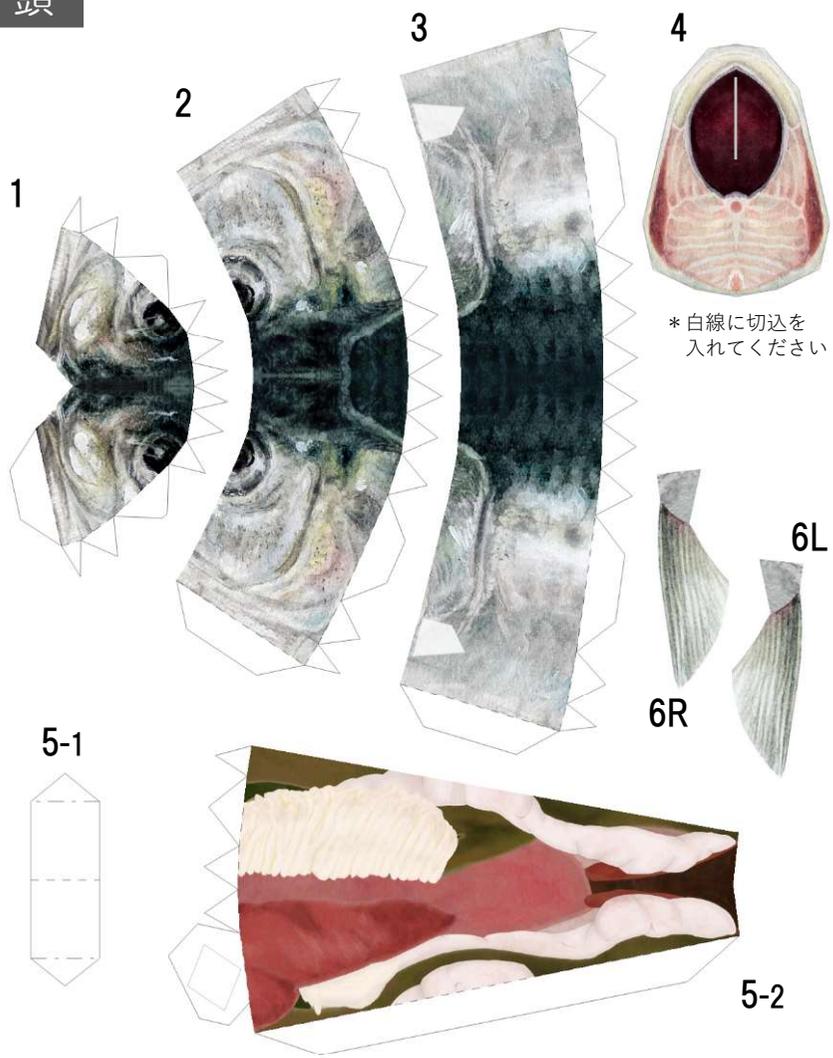
1つの缶に2匹分の胴体が入ります。



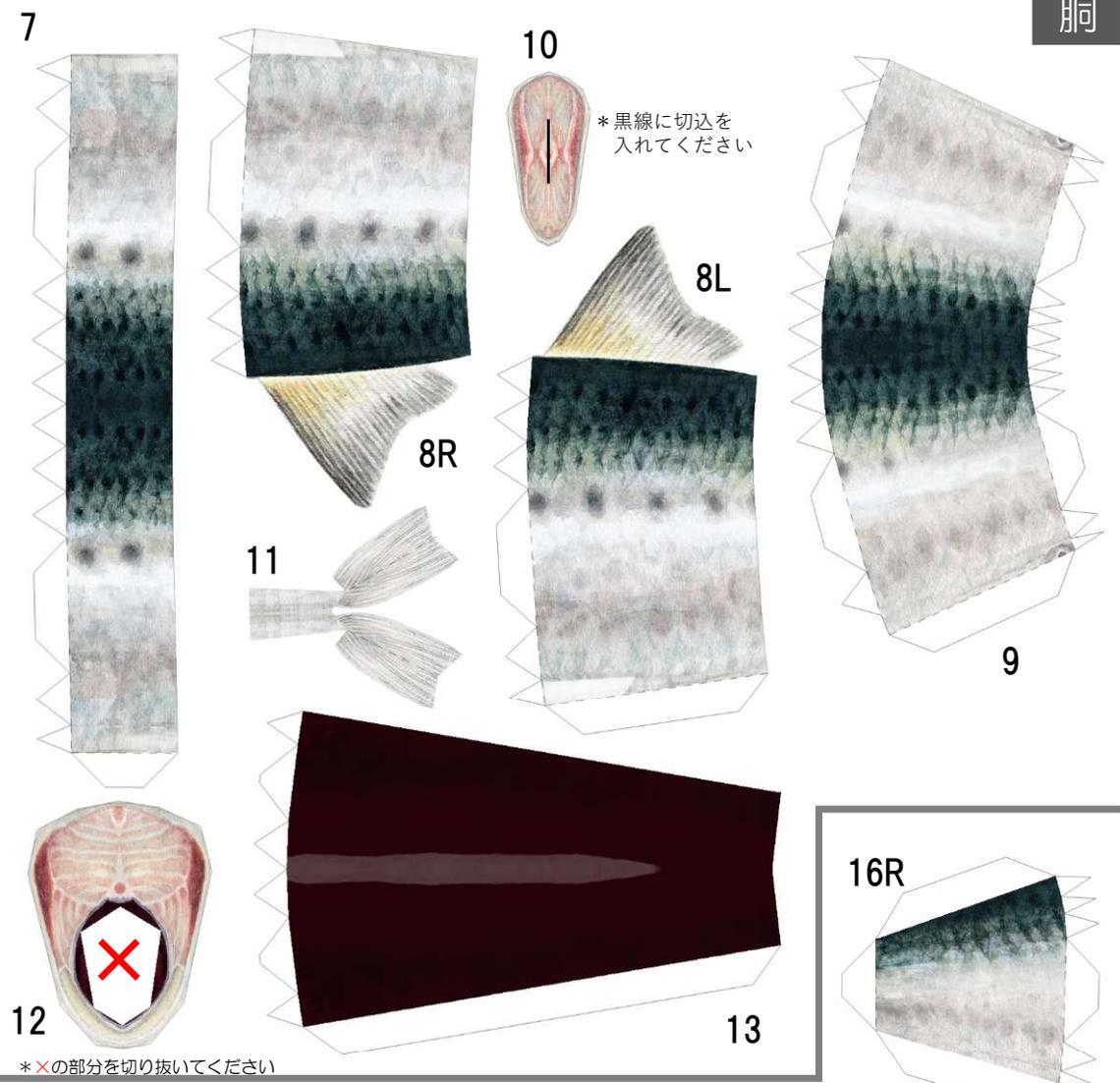
頭のパーツは  
ヒラギワシの  
パーツになります。



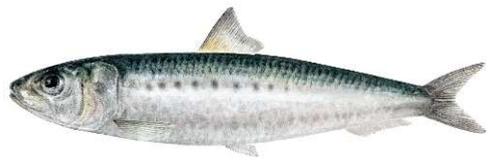
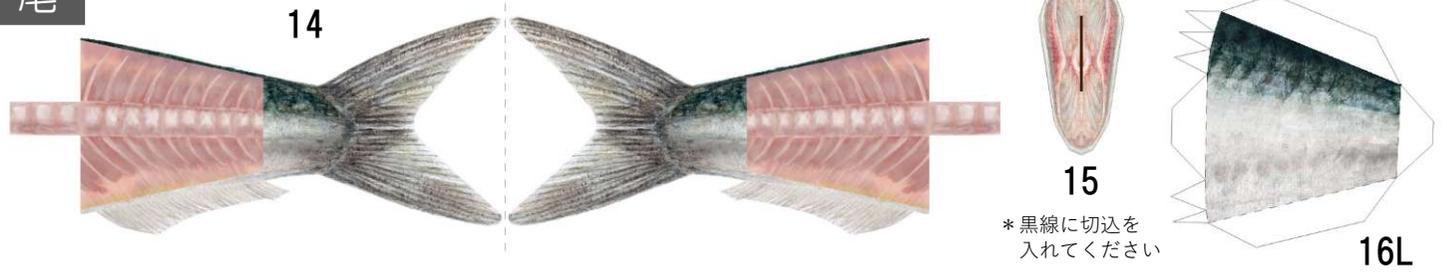
頭



胴

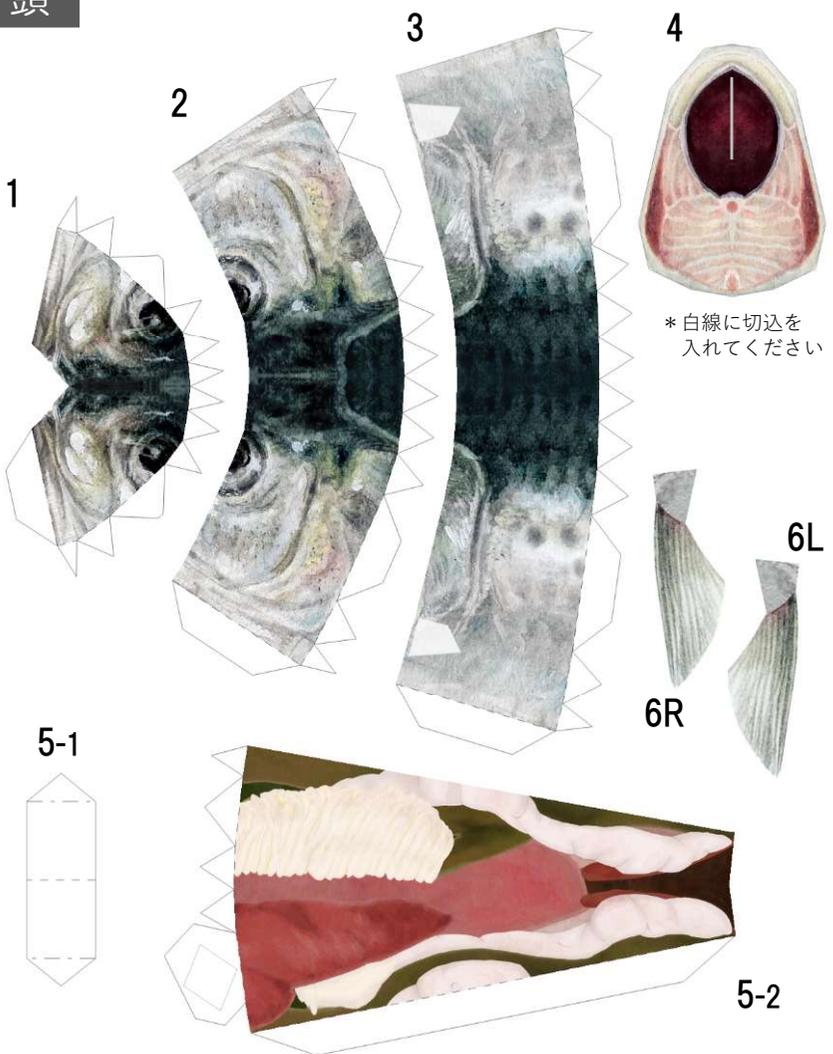


尾

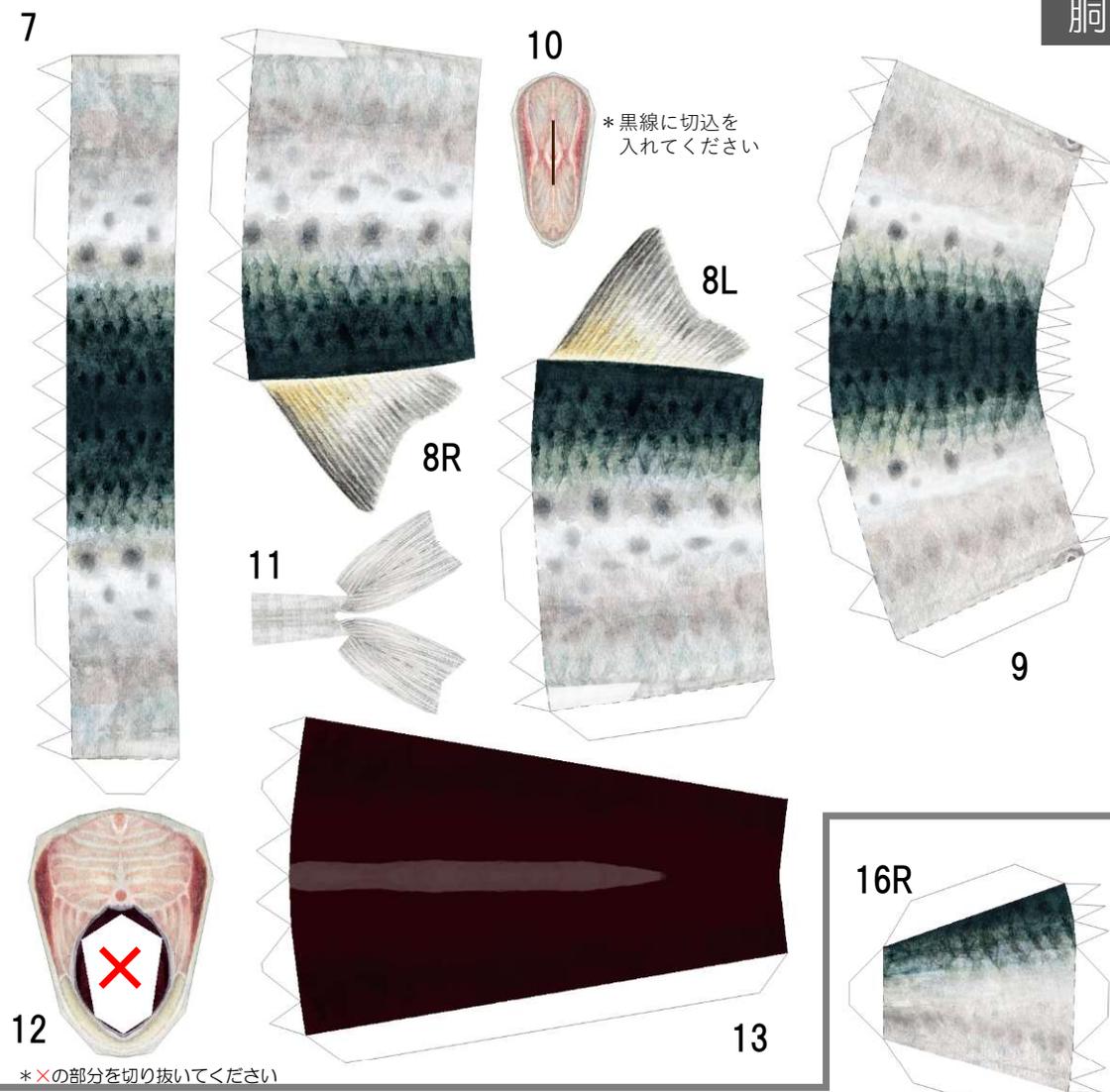


マイワシ姿イラスト・Noguchi Kaoru

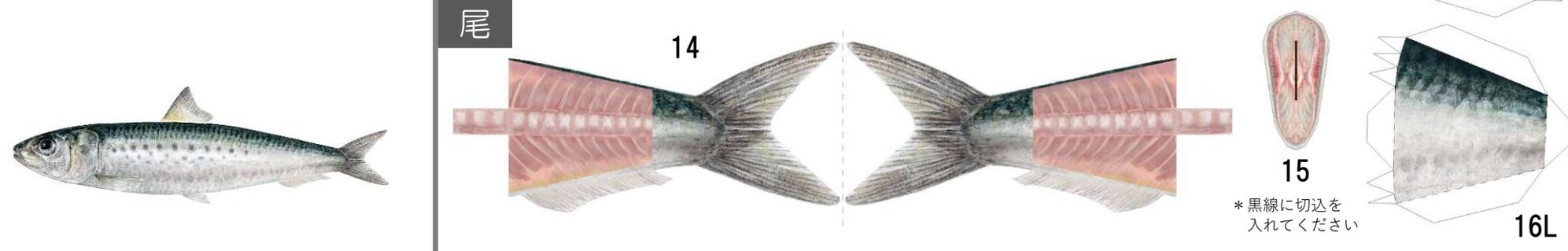
頭



胴



尾



缶（油漬）

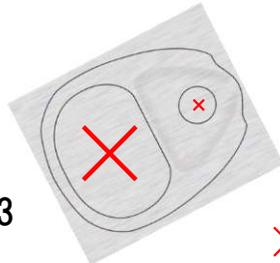
缶1



缶2



缶3



× の部分を  
切り抜いてください

缶4



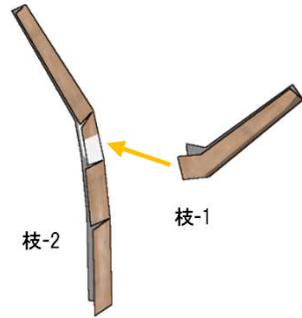
# おまけ ヒイラギイワシ



ヒイラギイワシは、ヒイラギの枝に焼いたイワシの頭を刺した、節分の魔除け飾りです。イワシの臭いを鬼が嫌い、また、ヒイラギの葉の棘が鬼の目を刺すことで、鬼を遠ざけるとされています。

マイワシの胴体を缶に入れると、頭部が残ります。これを使って、節分に向けてヒイラギイワシを作ってみましょう。

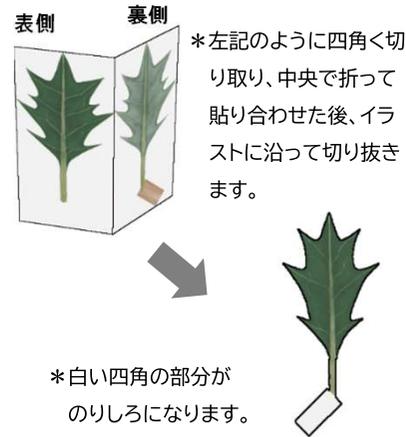
## 1 枝の組み立て



\*枝-1の根本で枝-2の白い部分を挟み込んで接着します。

## 2 葉の組み立て

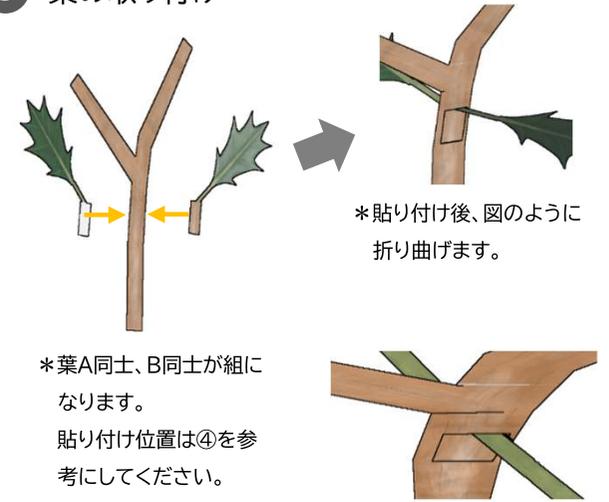
\*葉にはAとBがありますが、両方とも同じように組み立てます。



\*左記のように四角く切り取り、中央で折って貼り合わせた後、イラストに沿って切り抜きます。

\*白い四角の部分がのりしろになります。

## 3 葉の取り付け

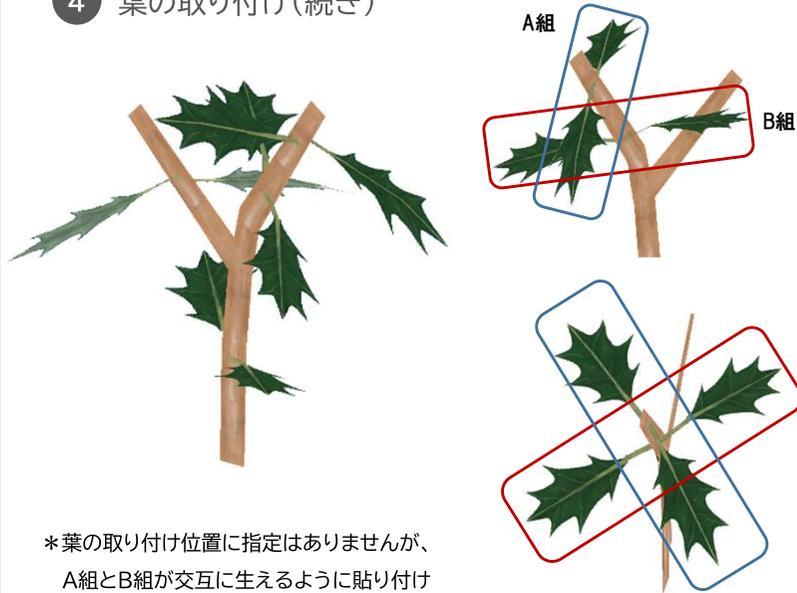


\*貼り付け後、図のように折り曲げます。

\*葉A同士、B同士が組になります。貼り付け位置は④を参考にしてください。

\*上から見ると、枝に対して斜めに葉が生えます。

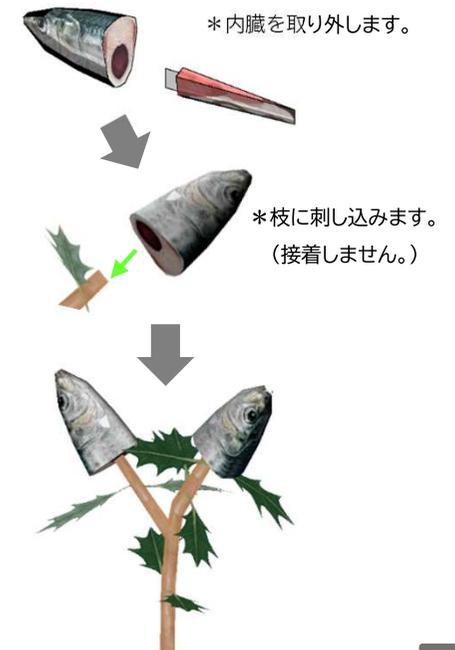
## 4 葉の取り付け(続き)



\*葉の取り付け位置に指定はありませんが、A組とB組が交互に生えるように貼り付けます。

\*上から見ると、葉Aの組と、葉Bの組が直交します。

## 5 マイワシの頭の取り付け



\*内臓を取り外します。

\*枝に刺し込みます。(接着しません。)

葉 A



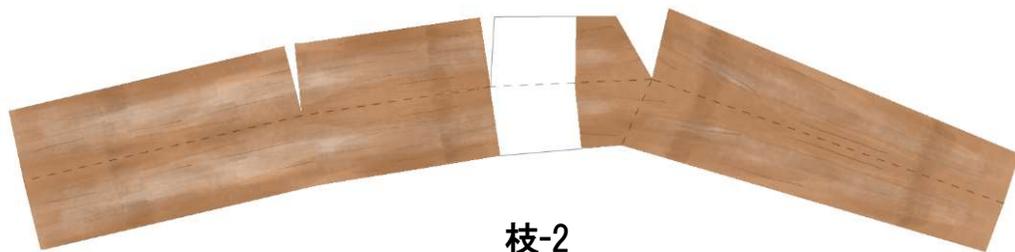
葉 B



枝



枝-1



枝-2